

編輯室の内外

△十月二十五、六の兩日に大阪で道路大會を開くことに爲つた、その下準備に今は編輯室の内外は、戦場のやうに忙殺されてゐる、大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の六府縣の關係者に懇々大阪府知事官舎に御會合を願ふこと、二回、しかも盛夏のときに御足勞を煩し本會から列席した路政

僧が我が儘を申上げお願したことは寔に恐縮する、併し之を寛恕して本會の所望を御聽容願つたことは感謝の外はない、開催地の大阪では土木部長の三輪君が病床にあるのとき、部員總勢で本會の爲に盡力して貰つたことは更に深く感謝する。

△大會に出席した各位は、路政に關し當局に對し常に要求して居ること、又は將來に於て希望すること、有ゆる要求を提出することが出来る、又研究された事項の發表も自由である、政府に對し一片の文書を以て

建議若は陳情するのが効果があるか、夫れとも本大會に於て多數民衆支援の下に建議するのが得策であるかは言ふ迄もないこと、併し夫れを提出する期限があるから夫れを守つて貰ひたい。

△今回の大會は本會最初の試である、其の効果を判断して之を繼續すべきやも判定さるゝ譯、ドーか同人の所望した効果を擧げ得るやうに多數有志の參加を希望して已まない。

△萬國道路大會提出意見調査委員會は、今夏に於ける半日の休暇を殆ど之に費した、唯だ我が路政の爲にと、勉勵された各委員諸士に深甚の敬意を表する、其のお蔭で各部の調査殆ど完成し、上梓するの運に至つた、道路大會に於て之を列席者に配付するのであるが、之が調査は昭和八年の夏期に於ける各委員汗の結晶と承知して貰ひたい△暑い〜と言つたのは束の間で、朝夕の冷氣は早や秋の來たのを知らしむる、三伏の暑さにも之を克服して奮闘したとは思つ

てゐるものゝ、夫れを振返つて見るとき、矢張り思半ばに過ぐるものがある、夫れを挽回すべく努むる編輯同人此後の活動を見て貰ひたい。

本誌定價 五十錢
 一ヶ年分 金 六圓
 東京市麴町區大手町一丁目内務省内
 發行所 社團 道路改良會
 東京市澁谷區幡ヶ谷本町三丁目三五六
 發行兼 編輯者 小 島 效
 東京市小石川區諏訪町五六
 印刷所 常馨印刷所
 印刷者 堀江關武